

令和8年度 第1学年 家庭科 年間指導計画 予定年間授業時数： 35 時間

使用教科書：開隆堂 「技術・家庭 家庭分野」

使用副教材：スウェーデンししゅう「ティッシュケース」

教科の学習目標：衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的、基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

<学習内容>

学期	学 習 単 元	学 習 内 容
1	A 家族・家庭生活 1 自分の成長と家族・家庭生活 B 衣食住の生活 1 目的に応じた衣服の選択 2 日常着の手入れと保管 3 生活を豊かにするものの製作 「ティッシュケース」の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭のはたらきを理解する。 ・衣服の社会生活上のはたらきを理解する。 ・目的に応じた着方や、個性を生かす着用を工夫できるようにする。 ・衣服を選ぶ時のポイントや表示の見方を理解し、衣服の適切な選択ができる。 ・衣服の手入れや保管を適切に行うことの必要性を理解し、生活に生かせるようにする。 ・手縫いやミシン縫いなどの基本的知識と技術を活用し、生活に生かせる作品を製作する。
2	B 衣食住の生活 「ティッシュケース」の製作の続き 4 持続可能な衣生活 B 衣食住の生活 1 食事の役割と食習慣 2 中学生に必要な栄養 4 日常食の調理	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した衣生活について問題意識をもち、実践することができるようになる。 ・食生活を振り返り、食事の役割や健康への影響に関心をもつ。 ・食品の栄養素とはたらきについて知る。 ・安全や衛生に注意した、調理技術を身につける。 ・肉・魚・野菜それぞれの特徴、調理上の性質、衛生的な扱い方などを知り、実践的に学ぶために自宅にて調理を行い、レポートを作成する。
3	B 衣食住の生活 6 献立づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の体の成長に必要な栄養素と食品のとり方をおさえ、献立の立て方を学ぶ。

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと評価します。

観点（全体に対する割合）	観点の趣旨	評価資料
観点1（33%） 知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付けている。	プリント・ 実習作品 定期考査
観点2（33%） 思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	プリント 振り返りカード 実習作品 レポート
観点3（33%） 主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	プリント チェックカード 振り返りカード レポート 授業観察